

令和5年度事務事業点検
点検結果報告書

亀山市事務事業外部点検委員会

1. 令和5年度事務事業点検結果

(1) 令和5年度事務事業点検の概要

亀山市では、事務事業の有効性や費用対効果を十分見極めた上で、事業の「選択と集中」を実行し、政策推進と財政健全化の両立を図るため、外部委員の客観的な視点による外部点検を実施しました。

令和5年度事務事業点検の主な特徴は2点です。一点目は、事務事業の成果の論理的な因果関係を流れで表す「論理モデルシート」を活用したこと。二点目は、行政評価の外部評価とは異なる観点で事務事業を点検したことが挙げられます。行政評価の外部評価においては市の内部評価の検証を行うのに対して、この事務事業点検では、市の評価にはとらわれずに、委員それぞれの視点から事業の「有効性」を検証しました。

また、事務事業の内容については、資料が会議に先立って配布され、事前に質問等への回答や追加資料が示されました。このことにより、予め基礎的な知識や意見等を整理した状態で点検に臨むことができ、より踏み込んだ議論が行えたものと考えます。

(2) 点検結果の総括

今回の外部点検の対象事業については、令和4年度に実施した事務事業評価対象事業の内から、外部点検を行うべき事務事業の提案を職員から募るとともに、一般財源額の大きさ、施策体系上の事業分野のバランスなどを総合的に勘案して6事業が選定されました。

対象事業は、全体としては総合計画に沿ってよく努力されているとの所感で一致しました。

しかしながら、一部の事務事業については、効果が十分に把握されていない、又は十分でないと思われるものがあつたほか、事務事業のハード面が注目されている一方でソフト面について十分に配慮されていないものが見受けられました。

これらのことから、事務事業の目的と目指すべき成果を改めて確認し、より効果が上がるように取り組まれることの必要性が明らかになりました。

(3) 来年度の点検に向けた意見等

今回の外部点検では、「論理モデルシート」を活用したことにより、事務事業のこれまでの実績と最終的な成果までの流れを俯瞰し、行政活動によって生み出される成果が地域課題の解決等につながるかという視点で、より踏み込んで

考え、議論ができました。

一方で、個々の事務事業に関する担当部署の説明については、事実関係や関連数値等の把握が十分でないと思われるものが一部に見受けられたため、次回の点検においては、正確かつ論理的に説明ができるよう入念に準備をして臨まれるよう要望します。

また、次年度の対象事業については、関連する事務事業を含めた周辺分野における複数の事務事業を幅広い視野で点検されると良いと考えますので、次回の事業選定の際に検討されるようお願いいたします。

加えて、今回の点検結果を対象事業のみに留めることなく、他の事務事業においても共有し、事業改善の参考とするよう努めていただきたい。

(4) 個別事業の点検結果

今回の対象事業に対する個別の点検結果については、対象事業別の事務事業点検シートのとおりです。

以上、当委員会として点検結果をまとめましたが、これらを行政経営資源の効果的な再配分に生かすととともに、第3次総合計画の策定過程に反映させるなど、より一層の持続可能なまちづくりの展開に努められたい。

令和6年2月16日

亀山市長 櫻井 義之 様

亀山市事務事業外部点検委員会
委員長 村林 守

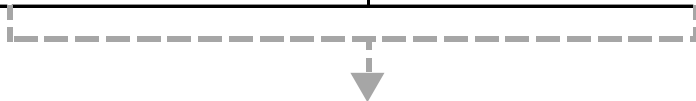
2. 個別事業の点検結果 (事務事業点検シート)

事務事業点検シート

点検実施日：令和6年1月29日

事業名	がん検診推進事業
-----	----------

妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価	
<p>○妥当性については、事業の目的は明確であり妥当である。</p> <p>○経済性及び効率性については、経費は医療機関への委託費が主であり、やむを得ない支出である。</p> <p>○一方で、受診者の自己負担金は、他市と比べて低い水準にあるので、今後は事業の成果とのバランスを考慮しつつ、見直しなど経済的な観点からの検討が必要である。</p>	A	<p>事業の有効性が十分であり、現行通り又は拡充した事業実施が望まれる。</p>
	<p>○事業の成果に向けた活動の方向性は適切である。検診の手引きが分かりやすくまとめられているほか、受診勧奨に積極的に取り組むなどの努力が認められる。</p> <p>事業の成果を拡大できるよう、情報発信を効果的に行うなど受診率を更に高める工夫に継続して努められたい。</p>	



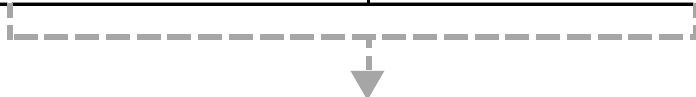
意見 (改善案等)	<p>○集団検診は個別検診に比べて少ない経費で実施できることから、集団検診の受診割合を増やすことによって事業の成果を確保しつつ経費の削減に資するものと思われる。受診の需要に対応する観点からも、集団検診の定員を拡大するなどの工夫を検討されたい。</p> <p>○がんの早期発見早期治療に加え、がんを予防するための知識の普及も重要である。健康的な生活習慣の普及につながるような総合的な支援に取り組まれない。限られた財源であるので、上位の施策全体を見通した検診と健康指導の財源配分の見直しなども検討が望まれる。</p>
--------------	--

事務事業点検シート

点検実施日：令和6年1月29日

事業名	地域生活交通再編事業
-----	------------

妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価	
<p>○妥当性については、事業の目的は妥当であるが、利用状況等を踏まえた効果的な事業を展開する必要がある。</p> <p>○バス路線の廃止に対応して始まった「地域生活交通の再編」という観点からの発想にとられず、移動困難者のニーズに合わせたサービスを設計していくことが必要になっている。</p> <p>○経済性及び効率性については、事業費が高み財政圧迫の原因となっている。利用者の移動コストが増加傾向にあることも踏まえ、出来る限り費用対効果の大きい手法でニーズに応えられたい。</p>	B	<p>事業の有効性が十分であるとは言えず、実施手法等の改善が望まれる。</p>
	<p>○交通不便地域を公共交通でカバーするという観点での効果は認められる。</p> <p>○移動困難者の実際の移動ニーズを把握し、それに応えられる新しい手法を工夫することにより、少ない経費で大きな効果を上げられるよう改善を図られたい。</p>	



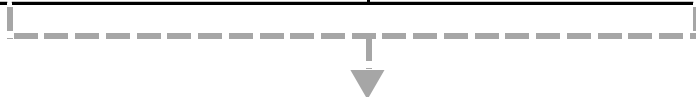
意見 (改善案等)	<p>○公共交通の充実度は、市民のみならず移住定住を検討する人にとっても重要な要素であることから、生活のライフラインとして確保することが求められる。</p> <p>○その上で、市民の利用状況等を踏まえた最適な公共交通の形態としていくため、アンケート等に留まらず、移動困難者の実態を調査するなど更に一步踏み込んだ実体験に基づき、利用者の移動ニーズを把握されたい。</p>
--------------	--

事務事業点検シート

点検実施日：令和6年1月29日

事業名	観光プロモーション推進事業
-----	---------------

妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価	
<p>○妥当性については、観光を軸とした地域活性化に向けた観光プロモーションの必要性は認めるが、事業の目的が達成できるように必要な見直しを行われたい。</p> <p>○経済性・効率性については、経費が主に委託費であるが、市の主体性を一層発揮し、事業の費用対効果を高められるように進められたい。</p>	B	<p>事業の有効性が十分であるとは言えず、実施手法等の改善が望まれる。</p>
	<p>○情報発信にストーリー性を持たせることや、市内外へ向けた発信などの新しい方向性は良い。</p> <p>○しかし、発信を誰が受け止め、受信者にどのような変化が生じているのか、把握していないと思われ、費用に見合った効果があることが確認できなかった。</p> <p>○プロモーションの切り口や見せ方だけでなく情報の中身も重要であるため、発信する情報を深掘りする必要がある。</p> <p>○事業手法の見直しも含めて工夫を図り、事業の効果を発揮できるように進められたい。</p>	



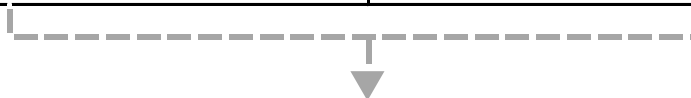
意見 (改善案等)	<p>○本事業におけるプロモーションのコンセプトである「アートが生まれる街、亀山」については、一般的に亀山市を連想させる「道」「歴史」「自然」といった要素との結びつきが弱く亀山市の魅力を想起しにくい印象である。アートをコンセプトにするのであればアートを前面に出した取り組みを行うなど、コンセプトが有効に働くように工夫されたい。</p>
--------------	---

事務事業点検シート

点検実施日：令和6年2月2日

事業名	防犯対策事業
-----	--------

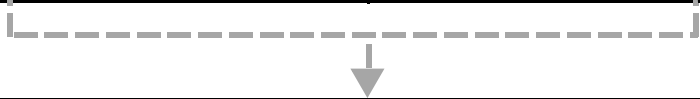
妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価
<p>○妥当性については、本事業の取組内容は目的に照らしてハード面に偏っている印象であり、ソフト面の取組の充実が求められる。</p> <p>○経済性及び効率性については、事業費の約半分が防犯灯の電気代の全額補助に充てられている。設置する場所や数も含めて、抑制が効かずに必要以上の支出につながっているおそれがあり、検証が必要である。</p>	<p>B 事業の有効性が十分であるとは言えず、実施手法等の改善が望まれる。</p> <p>○防犯灯の設置に一定の防犯効果はあったと認められる。</p> <p>○一方で、地域での防犯パトロールや声かけ運動など地域ぐるみでの防犯活動については十分に促進されてはならず、市民の体感治安の向上を図るという目的に対しては、効果が限定的である。</p> <p>○地域の住民が自らの地域を守るために自主的な活動に取り組めるよう行政と警察が連携してバックアップする必要がある。</p>



意見 (改善案等)	<p>○防犯対策という観点からすると、防犯灯や防犯カメラの設置といったハード面の取組に注力するだけでは効果が限定的である。地域の防犯活動を活性化させる仕組みなどソフト面も含めた多様な防犯対策手法を研究されたい。</p> <p>○防犯灯の設置基準については、防犯上の必要性がチェックでき適切な設置につながるよう再検討されたい。</p> <p>○防犯灯の補助金については、自治会活動を所管する部署と連携し、関連する補助金等の統合を検討されたい。</p> <p>○庁内での横のつながりを作り、効果的な防犯対策に向けた仕組みを構築されたい。</p>
--------------	--

事業名	新庁舎整備事業
-----	---------

妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価	
<p>○妥当性、経済性、効率性については、令和4年度は基本計画の策定作業までであり、事業目的に沿って進められており特に問題はない。</p> <p>○しかしながら、今後建設段階に進めば、多額の投資が必要となるので、それに見合った効果が発揮できるよう、経済性、効率性についても十分配慮すべきである。</p>	A	<p>事業の有効性が十分であり、現行通り又は拡充した事業実施が望まれる。</p>
		<p>○令和4年度事業については、基本計画の策定が令和5年度にずれ込んだものの、新庁舎の建設に向けて前進したものと認められる。</p> <p>○一方で、総事業費の見込みが95億円であり、今後、多額の投資が必要となる。建設コストの上昇など社会情勢の変化を慎重に見極め、十分な投資効果を発揮できるよう取り組まれない。</p>



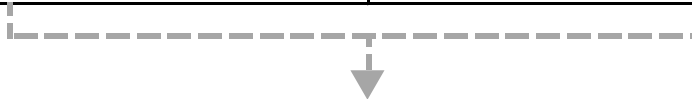
意見 (改善案等)	<p>○現庁舎は十分に機能しなくなっており、機能的な庁舎の建設が必要である。</p> <p>○新庁舎は市の中心的な役割を果たすべきものであることから、市民が活発に交流できる拠点となるような、市民に開かれた庁舎が求められる。</p> <p>○一方で、量子コンピュータやAIにより、今後デジタル化社会は一層の進展が見込まれ、市民が来庁せずとも行政サービスを受けられる未来が予測できる。また、リニア中央新幹線の駅位置によっては、市の都市構造が大きく変化する可能性がある。庁舎は一度建設すると長期間使い続けるものであることから、こうした不確定要素が多い中において、立ち止まって再検討すべきではないかという意見があった。</p> <p>○他方、長い期間検討してようやく出来た基本計画であり、速やかに進めるべきであるという意見もあった。</p> <p>○委員において意見が分かれる結果となったが、市民においても同じと思われるので、有効な事業となるよう慎重に進めていただきたい。</p>
--------------	--

事務事業点検シート

点検実施日：令和6年2月2日

事業名	個の学び支援事業（小学校・中学校）
-----	-------------------

妥当性、経済性、効率性に関する意見	有効性（対コスト有効性含む）の評価	
<p>○妥当性については、事業目的に沿って適切に進められており、特に問題はない。</p> <p>○経済性及び効率性については、事業費の大部分が一般財源による負担であり、財源面からの不安があることから、国費などによる支援を要望していくべきである。</p>	A	<p>事業の有効性が十分であり、現行通り又は拡充した事業実施が望まれる。</p>
	<p>○支援を必要とする児童生徒の保護者の満足度調査において、小学校・中学校共に満足度が90%を超えており、介助員その他支援員等の配置の効果が上がっていると認められる。</p> <p>○また、児童生徒の人数や特性に応じて、各支援員等が連携して支援に当たっており、安心できる学校生活につながっていると思われる。</p> <p>○支援に当たる人材について、本来は一定の専門性が必要であり、継続して支援に当たることが望ましいのであるが、何とか必要人数を確保しているという状態であるので、今後十分な効果を発揮するための課題となると思われる。</p>	



意見 (改善案等)	<p>○介助員その他の支援員等の人員が不足すると、児童生徒に対する十分な支援が行えないほか、質の低下につながるおそれがある。必要な支援を継続できるよう、引き続き人材確保に努められたい。</p> <p>○そのため、今後の人材募集に当たっては、処遇の改善を検討するとともに、現在の従事者が仕事を長く続けることができるような環境を整備するなど、人材の確保・定着につながるような仕組みを検討されたい。</p>
--------------	--